

ケーブルテレビ

自主放送の中止を

中止はしない

／町長

問

この事業は全体計画も知らされず、維持管理費がどれだけ掛かるのかさえ分からず、予算だけが議会を通じて事業が進んでいる。

この間、北川村の取り組みをうかがってきた。ここでは光ファイバーを中芸4町村の広域で整備し、総事業費を4億円も削減していた。さらに約20億円の総事業費なのに維持管理費がわずか約2260万円とあった。その上テレビの利用料を取るかどうか検討中で、取っても500円以内



みやち ようこ 議員
宮地 葉子

とのこと。

なぜこの様に安い経費と町民負担を減らすことが可能なのか。ここではインターネットは民間業者に営業を任せ、施設の利用料を会社からもらう公設民営とし、この利用料は維持管理費に充てていた。そして肝心な点は、町村がつくる自主放送をしないことが一番の理由だと思える。

① 自主放送をしなければ、放送設備やスタジオが要らない。そのための人件費も要らず、その他様々な経費の削減が可能となる。運動会等の催しや、議会の模様等を流す自主放送を毎月1000円も出して、どれだけの人が見るだろうか。ケーブルテレビ事業の中止が出来ないのなら、自主放送を取り止め、出来るだけ住民負担を軽くする選択をすべきだと思つがどうか。

② これからは、住民への説明が不十分なままテレビ加入

を促進する事になるが、分らない、勘違いしている町民も多い。町が出す書類には必ず「テレビの加入は自由である」事を大きな文字で知らせるように求める。

また「今入らないと損をする」等と、何処かの悪徳商法まがいのやり方で、テレビ加入をうながす様なことがないよう強く求めるがどうか。

答

下村町長

① 町からのチラシ等が年々増え区長さんにご足労かけている。今後はテレビで情報を流していきたいので、自主放送の中止はしない。

② 住民の方には何度も説明をしてきたので、理解して頂けていると思う。

テレビは工事中の加入なら無料だが、工事が終われば町の持ち出しもあり、実費が必要なる事は当然のこと。加入の意思は2年間余裕があり、急いで今入っておかなければならないようなことではない。

問

性炎 菌膜 細胞

ワクチン接種への助成を

今後の課題とする

／町長

答

下村町長

大塚 佐賀健康福祉課長

国が助成をしていない場合は、健康被害が生じた時の認定が難しく、町独自の補助は困難だ。今後の課題として、情報収集に務め考えていきたい。

乳幼児がかかる細菌性髄膜炎は、死亡率も高く、後遺症も残る恐い病気だ。ワクチン（ヒブワクチンという）接種が最良だが、1回に約7000円かかり、4回の接種が必要だ。若い親世代には大きな負担であり、これではお金持ちだけのワクチンになる。まだ国が補助をしていないので、独自で助成をしている自治体が増えてきている。黒潮町でも子育て支援としてワクチンの助成を求めるがどうか。



雪で遊ぶ子どもたち